

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 4 月 28 日 (2011.4.28)

【公開番号】特開 2009-219986 (P2009-219986A)

【公開日】平成 21 年 10 月 1 日 (2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報 2009-039

【出願番号】特願 2008-65916 (P2008-65916)

【国際特許分類】

B 0 8 B 1/04 (2006.01)

B 0 8 B 5/04 (2006.01)

B 2 1 B 45/02 (2006.01)

【F I】

B 0 8 B 1/04

B 0 8 B 5/04 A

B 2 1 B 45/02 3 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 3 月 10 日 (2011.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

鋼板、非鉄金属板、樹脂板、あるいはフィルム状からなる被洗浄面に付着した水分、油分、あるいは薬品成分等の液体を除去、搾取、洗浄する為のロールにおいて、前記ロールはロール部及び台座を有し、前記台座は本体部、及び前記本体部の両端に接続される継ぎ手部 A 及び継ぎ手部 B を有すると共に、開口部を有する中空状にて貫通して形成されており、前記本体部の外周には不織布からなる前記ロール部が形成されてあると共に、前記開口部に連通する吸引孔が形成されており、前記継ぎ手部 A 及び継ぎ手部 B は、前記本体部の端部の近傍に、前記開口部の開口面積が、前記本体部の中央部の開口面積に比べて小となるように傾斜面にて形成された除変部を有することを特徴とするロール。

【請求項 2】

鋼板、非鉄金属板、樹脂板、あるいはフィルム状からなる被洗浄面に付着した水分、油分、あるいは薬品成分等の液体を除去、搾取、洗浄する為のロールにおいて、前記ロールはロール部及び台座を有し、前記台座は本体部、及び前記本体部の両端に接続される継ぎ手部 A 及び継ぎ手部 B を有すると共に、開口部を有する中空状にて貫通して形成されており、前記本体部の外周には前記ロール部が形成されてあると共に、前記開口部に連通する吸引孔が形成されており、前記継ぎ手部 A 及び継ぎ手部 B は、前記本体部の端部の近傍に、前記開口部の開口面積が、前記本体部の中央部の開口面積に比べて小となるように傾斜面にて形成された除変部を有し、前記ロール部は前記本体部の外周に不織布からなる複数の概円環状のロール片、及び前記ロール片より回転外径が小である補強部材が積層されて形成されてあることを特徴とするロール。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

前記従来の課題を解決する為に、請求項 1 の発明のロールは、鋼板、非鉄金属板、樹脂板、あるいはフィルム状からなる被洗浄面に付着した水分、油分、あるいは薬品成分等の液体を除去、搾取、洗浄する為のロールにおいて、前記ロールはロール部及び台座を有し、前記台座は本体部、及び前記本体部の両端に接続される継ぎ手部 A 及び継ぎ手部 B を有すると共に、開口部を有する中空状にて貫通して形成されており、前記本体部の外周には不織布からなる前記ロール部が形成されてあると共に、前記開口部に連通する吸引孔が形成されており、前記継ぎ手部 A 及び継ぎ手部 B は、前記本体部の端部の近傍に、前記開口部の開口面積が、前記本体部の中央部の開口面積に比べて小となるように傾斜面にて形成された除変部を有することを特徴としている。したがって、台座は中空状にて貫通して形成されてあることから、本体部の両端部に接続された継ぎ手部 A、及び継ぎ手部 B は、共に配管を介して真空ポンプに接続することができる。従って、ロール部に吸収された液体を、台座の両方の端部から同時に吸引することができるので、真空吸引力にバラツキが発生することがなく、ロール部に吸収された液体を、迅速、且つ均一に吸引してロール外部に排出する。その為、ロール部の吸液飽和状態が解消され、ロールの耐用年数の長期化を図ることができる。

【 手続補正 3 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 2 】

請求項 2 の発明のロールは、鋼板、非鉄金属板、樹脂板、あるいはフィルム状からなる被洗浄面に付着した水分、油分、あるいは薬品成分等の液体を除去、搾取、洗浄する為のロールにおいて、前記ロールはロール部及び台座を有し、前記台座は本体部、及び前記本体部の両端に接続される継ぎ手部 A 及び継ぎ手部 B を有すると共に、開口部を有する中空状にて貫通して形成されており、前記本体部の外周には前記ロール部が形成されてあると共に、前記開口部に連通する吸引孔が形成されており、前記継ぎ手部 A 及び継ぎ手部 B は、前記本体部の端部の近傍に、前記開口部の開口面積が、前記本体部の中央部の開口面積に比べて小となるように傾斜面にて形成された除変部を有し、前記ロール部は前記本体部の外周に不織布からなる複数の概円環状のロール片、及び前記ロール片より回転外径が小である補強部材が積層されて形成されてあることを特徴としている。したがって、台座は中空状にて貫通して形成されてあることから、本体部の両端部に接続された継ぎ手部 A、及び継ぎ手部 B は、共に配管を介して真空ポンプに接続することができる。従って、ロール部に吸収された液体を、台座の両方の端部から同時に吸引することができるので、真空吸引力にバラツキが発生することがなく、ロール部に吸収された液体を、迅速、且つ均一に吸引してロール外部に排出する。その為、ロール部の吸液飽和状態が解消され、ロールの耐用年数の長期化を図ることができる。